

平成 25 年 1 月 17 日

各 位

会 社 名 ケ ネ デ ィ ク ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 川 島 敦  
(コード番号:4321 東証一部)  
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 田 島 正 彦  
電 話 番 号 (03)3519-2530

### 平成 24 年 12 月末時点の受託資産残高(AUM)について

当社グループの AUM は、下記の通り平成 24 年 10 月から 12 月末までの第 4 四半期において 138 億円の純増となり、平成 24 年 12 月末時点において 1 兆 1,177 億円となりましたのでお知らせ致します。

記

#### <AUM の推移>

	増加額	減少額	純増減	受託資産残高
平成 23 年度期末	—	—	—	1 兆 1,113 億円
平成 24 年度 第 1 四半期	142 億円	158 億円	△15 億円	1 兆 1,098 億円
平成 24 年度 第 2 四半期	315 億円	238 億円	76 億円	1 兆 1,175 億円
平成 24 年度 第 3 四半期	415 億円	551 億円	△136 億円	1 兆 1,038 億円
平成 24 年度 第 4 四半期	673 億円	534 億円	138 億円	1 兆 1,177 億円
累計	1,547 億円	1,483 億円	63 億円	1 兆 1,177 億円

平成 24 年第 4 四半期においては、大型オフィスビル開発案件のアセットマネジメント業務受託(平成 24 年 12 月 6 日「千代田区内幸町所在オフィスビルの取得及び建替事業について」を参照)を始めとして、物流施設の新規開発やコンバージョン案件、オフィスビル等を投資対象とする私募ファンドの組成などにより、新たに合計 673 億円の AUM 増加を実現しました。一方で、引き続き私募ファンドを中心に売却が進捗し、合計 534 億円の AUM 減少となりました。

また、当社グループでは、バランスシートの圧縮を通じた財務体質の強化を課題の一つとして取り組んでおり、保有不動産の売却の決定及びその見込みを公表しています。それにより、平成 24 年中に合計 594 億円(AUM)の自己保有不動産の売却を行いました。

今後も引き続き市場環境の変化に柔軟に対応し、アセットマネジメントビジネスのより積極的な推進に努めます。

以 上

注:当社グループでは、以下の基準で受託資産残高の集計を行っています。

- 当社グループがアセットマネジメント業務等を受託している不動産案件が対象です。
- 取得時の物件購入価格(税抜)で集計し、取得付随費用やバリューアッド費用(物件価値を上昇させるための資本的支出)等のコストについては、本来は会計上の簿価を構成するものですが、受託資産残高には含まれていません。
- 当社グループが一時的に自己勘定で取得し、アセットマネジメントを行っている物件が含まれています。また、当社の関係会社が資産運用を受託している J-REIT(ケネディクス不動産投資法人、ケネディクス・レジデンシャル投資法人、および日本ロジスティクスファンド投資法人)が保有する物件も含まれています。
- 受託資産残高は、今後の受託資産の売却等により減少する可能性があります。